

令和4年度全国中学校体育大会第52回全国中学校バスケットボール大会

試合日	2022年8月22日(月)							
開始時刻	16:10							
会場	北海きたえーる YC6							

浜松市立与進中学校	61	18 - 13 10 - 11 11 - 22 17 - 10 5 - 2	58	実践学園中学校
-----------	----	---	----	---------

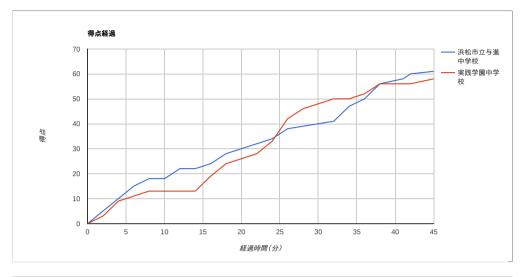
浜松市立与進中学校

No.	選手名	GS	PTS		3P			2P		DK		FT			RBD		AST	STL	BLK	то	PF	TF	FO	DO	MIN
140.	AST III	3	113	М	Α	%	М	Α	%	Š	М	Α	%	OR	DR	TOT	701	JIL	DEK	.0			-	υŲ	Milit
4	河合 真叶	٠	10	1	5	20	2	3	67	0	3	4	75	1	1	2	1	2	0	5	3	0	0	0	34:55
5	江間 真都	٠	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	50	1	1	2	1	0	0	2	1	0	0	0	34:13
6	犬塚 就斗		1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	50	0	3	3	0	0	0	4	0	0	0	0	7:54
7	戸田 旭飛		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
8	内山 天夢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
9	ポリスティコ ユ リ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
10	安川 仁登		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
11	片桐 風介		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
12	藤田 悠陽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
13	伊澤 拓哉		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
14	鈴木 海聖		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
15	鈴木 稜也		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
16	末永 蒼	٠	10	2	6	33	2	6	33	0	0	0	0	1	1	2	4	5	1	5	4	0	0	0	33:58
17	関宮 怜央	٠	16	0	0	0	8	10	80	0	0	0	0	4	3	7	3	2	0	2	0	0	0	0	37:00
18	尾藤 遙陽	•	23	0	1	0	8	13	62	0	7	8	88	2	12	14	3	2	0	4	1	0	0	0	37:00
	Team/Coaches		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7	0	0	0	1	0	0	0	0	DNP
	TOTALS		61	3	14	21	20	33	61	0	12	16	75	12	25	37	12	11	1	23	9	0	0	0	185:00

実践学園中学校

No.	選手名	GS	PTS		3P			2P		DK		FT			RBD		ACT	AST STL	BLK	то	PF	TF	FO	DO	MIN
NO.	施于和	65	FIS	М	Α	%	М	Α	%	DK	М	Α	%	OR	DR	TOT	ASI	JIL	BLK	10		'-	FU	υQ	milit
4	加藤 飛祐吾	٠	8	0	1	0	4	5	80	0	0	0	0	1	6	7	1	1	0	1	1	0	0	0	37:00
5	山本 英翔		3	1	2	50	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2:34
6	大塚 龍太		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
7	見城 樹	٠	21	0	0	0	9	21	43	0	3	4	75	2	4	6	1	0	0	2	1	0	0	0	35:06
8	亀山 諒司		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
9	金子 瑛太		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
10	新井 大晴		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
11	丸山 悠友		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
12	田口 琉依	٠	6	0	2	0	3	7	43	0	0	0	0	1	1	2	1	6	0	3	5	0	0	1	31:25
13	藤田 珀		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
14	三輪 悠雲		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
15	大瀧 稜真	٠	12	0	0	0	5	9	56	0	2	2	100	5	3	8	0	7	0	3	4	0	0	0	37:00
16	田嵜 虎之介		4	0	0	0	2	8	25	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	18:00
17	田中 柚稀	٠	4	0	1	0	2	7	29	0	0	0	0	1	1	2	3	4	0	4	4	0	0	0	23:55
18	鈴木 魁人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
	Team/Coaches		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	DNP
	TOTALS		58	1	6	17	25	58	43	0	5	6	83	12	16	28	7	18	0	15	16	0	0	1	185:00

No:背番号 PTS:得点 AVG:1試合平均得点 M:成功数 A:試技数 %:成功率 2P:2ポイントシュート 3P:3ポイントシュート DK:ゲンク FT:フリースロー RBD:リハウンド OR:オフェンスリバウンド DR:ディフェンスリバウンド TOT会計 AST:アンスト STL:スティール BLK:プロックショット TO:ターンオーバー PF:バーソナルファウル、クリア・バス・ファウル、アウェイ・フロム・ザ・ブレイ・ファウル、フレグラントファウル、バンチングファウルの合計 TF:テクニカル・ファウル FO:スールフェールフ・ロン・ストルース・ファールフ・ロン・ストルース・ファールフ・フロ・ストルース・フロ・ストルー



戦評

【準々決勝】

ベスト4をかけての一戦。与進 対 実践学園の対戦。

第1Q、与進は、1回戦で25得点を決めた#18のシュートで先制。その後も、インサイドアウトから#16、#4が3Pを決める。一方、実践は、#12、#4がスチールからの得点を決めるなど一進一退の攻防が続く。4分過ぎ、与進#16がこの試合2本目の3Pを決めるなど6点差とする。実践はダブルチームを仕掛けるなどディフェンスを変化させながら、自分たちのペースに持ち込む。7分40秒過ぎの最後のプレイで、実践はハーフコートでダブルチームでスチールを狙う。与進はあわてずパスを回し、最後は#4がドライブを決め、18-13で終了。

第2Q。 与進は#18から#17へのハイロープレイが決まる。実践はハーフコートでダブルチームを仕掛けるなど、相手のターンオーバーを誘う。しかし、最後のシュートがなかなか決まらない。両チームなかなか点が入らず、3分過ぎの22-13のとき与進が先にタイムアウトを取り、エンドスローインからのプレイを確認するが、借しくも決まらなかった。実践は#15、#7が得点をし、5点差まで詰め寄る。なんとか点差を離したい与進は、ここから高さと機動力を活かし、7分すぎ、#17、#18のドライブなどで9点差をつける。粘る実践は、7分過ぎに#15、#7のバスケットカウントが決まり、4点差まで詰める。28-24で終了。

第3Q。 与進#17、#18の活躍で与進ペースで進み始めた。点の取り合いが続いた4分30秒過ぎ、実践は#7のバスケットカウントが決まり、ついに同点に追いつく。さらに、その相手スローインをスティールし逆転に成功。一気に盛り上がる実践ペンチ。さらに#15、#17の連続スティールで36~42となる。5分30秒過ぎ、与進タイムアウト。タイムアウト後も得点の入れ合いが続き、39~46と実践が7点リードをして第3〇終了。

第4Q。最大9点ビハインドとなった与進。ここから驚異の粘りを見せ、4分30秒過ぎ、#5の2本目のフリースローは落ちたが、#18がオフェンスリバウンドを決め同点。5分30秒過ぎ、実践#16が決め、50-52とする。その後も実践のシュートが決まり、50-56となったところで与進タイムアウト。7分過ぎ、与進#4がシュートを決め、52-56。その後も、実践の攻撃をしのぎ、#18がフリースロー2本を決め54-56。実践は最後のシュートを決められず、与進がリバウンドを奪い最後の攻撃へ。ゴール下でノーマークとなった与進#17がパスを受け、ブザービーターとなるシュートを決め、56-56で延長へもち込む。

OT、与進#4の1on1が決まり、その後、与進が連続スティールで61-56と突き放す。粘る実践も#15がフリースローを2本決め、61-58と3点差に詰め寄る。残り24秒で与進ボール。実践はスティールを狙いに行くが、与進がボールをキープし、3点差でベスト4に進出した。両チームの粘り強いディフェンス、リバウンドを制そうとする意識の高さ、ベスト4を決める試合にふさわしい戦いであった。両チームの健闘に拍手を送りたい。

文責:山田 明

主審	福岡 敏徳	副審	羽田 直揮
副審	片山 峻	副審	
スコアラー	札幌市立札苗中学校	サブスコア担当者	